

そこでこの度、新たなまちづくりを進めるために、高月地域内でこれまでから「まちづくり」に取り組んできている自治会をはじめ、地域内の様々な団体や個人がネットワークとなり、旧高月町を一つとする「高月地域づくり協議会」を設立することとした次第です。

この協議会は、地域に暮らす人々が歴史と文化を受け継ぎ、今まで以上に安全で安心な社会のなかで生き、生きと暮らせるために、地域が主体となり健康、福祉、子育て、防災、防犯・安全、環境、産業、観光、教育、文化スポーツ、地域振興などに取り組み、社会構造の変化によつて生じる市民ニーズと行政サービスのズレを埋める、新たな公共サービスの提供を行うことや地域の将来像を示すことで、未来に希望と活気をもたらす地域自治を目指すものであります。

関係各位におかれましては、本会の設立趣旨にご賛同賜り、何卒積極的なご参加ご協力の程よろしくお願ひいたします。

高月町が1市6町の合併により「長浜市」となつて一年余が経過いたしました。私たちの高月地域は市の北西部に位置し、4つの連合自治会へ富永、高月、古保利、七郷からなる約3200世帯、人口約10300人が暮らす地域となりました。が、昔ながらの美しい山並みや田園、四季に富む風景のなか、国宝十面観音像に代表される信仰心の篤い観音の里として知られ、また江戸時代の國際人雨森芳洲、水害から村人を救つた西野恵荘上人、ヤンマーの創始者山岡孫吉など世界に光る人物を輩出し、国内はもとより世界の人々にも誇りうる歴史と文化を持つ地域であることに変わりありません。

今回の中核都市にし、不安定な経済情勢にあつても将来にわたゞと希望の持てる持続可能な行政財政運営を可能にさせるためのものであると考えますが、人の減少や少子高齢化の影響は市行政に税収減をもたらし、福祉・介護・医療サービスへの需要増大等により、市財政状況は今後より厳しい状況になると予想され、現在行われている公共サービスの全てをこれまでどおりの水準で実施することは困難な時代がくるとも言われています。

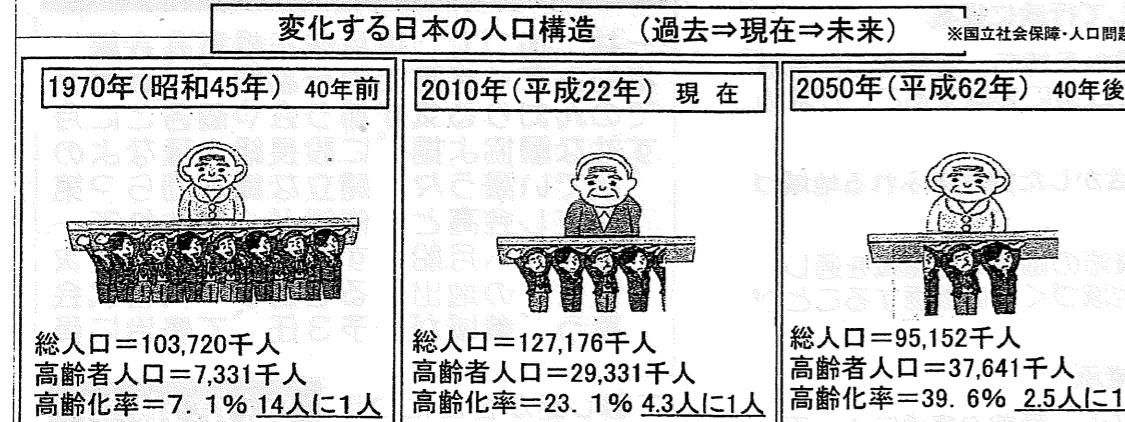
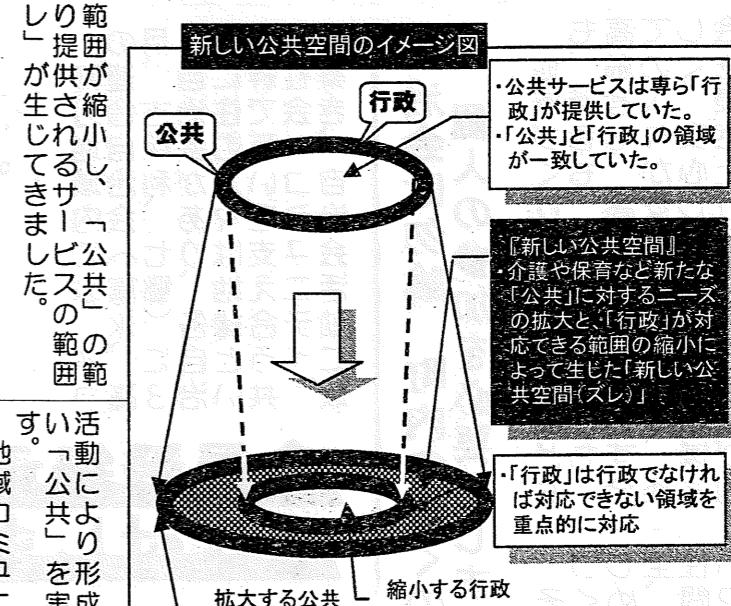
私たちが暮らす高月地域を今まで以上に満足度の高い地域社会とすること、これがくらすには、高月地域を今までどおりの水準で実施することは困難な時代がくるとも言われています。

「まちづくり」が一層重要になると考えます。

「高月地域づくり協議会」設立趣意書

『新しい公共』ということ

「新しいコミュニティのあり方に関する研究会報告書（抜粋）より引用



進む人口減少と
少子高齢化社会

要社でし配でろ危こ営せ支はす影とど状体化くまいりがの今は短長か会
で会支いさはもぶとがえ自響こ社況財は進こすう人約1日か様いいらが
すづえまれな出まや困安る治特をろ会に政むう。社が2億本ら々との開
く合ちまいてれ存難定力会にあにのさを国少し
りうづすかくる続にしを活地た大いせ厳や子た
が地くとるとさなた失動方えきたるし自高著
必域り新心のこえる運わをでまなるない治齡
会高・人は4で感感4催
を齢5を〇すじじ〇さ
迎者人下人年がるる年れ世
えとに回口後、かかをて

地域づくり協議会は 次のような役割を担います

地域には、住民の安心・安全の確保、生活の利便性の向上、美しい自然環境や町並みの保全、高齢者やしうがいを持つ方への支援、子育て支援、青少年の健全育成、商業や農業など産業の活性化、伝統文化の継承など、地域住民に広くかかわる公共的な活動がたくさんあります。

これらの活動や取り組みを進めているのは、住民自身であったり、行政であったりしますが、地域住民が行政と共に公共サービスを提供する側に参加することによって、より地域の実態に応じた丁寧なサービスが可能になります。

ただし、地域のすべてを地域住民が担うというのではなく、行政が直接行うこともありますし、自治会をはじめ、いろいろな団体、事業者、個人が行うこともあります。これらの多くの活動を連携しながら効率的に、より効果が上がるよう調整する役割が必要となります。それを地域づくり協議会が担います。

具体的には、次のような役割が考えられます。

① 地域課題の解決に向けた取り組み

地域のことを最も理解しているのは、地域住民です。まずは地域住民が地域課題に主体的に関わり自分たちで解決しようとすることが求められます。

② 身近な公共サービスの創造と提供

身近な公共サービスを生み出すとともに、その担い手となることが求められます。

○ 地域住民の声を集約して行政に提案

地域住民が行政に関心を持ち、地域内の合意形成を図りながら、市の政策に参画することが求められます。

④ 地域の特性や資源を活かした個性あふれる地域づくり

地域の特性や地域資源の価値の再認識を通して、地域住民が積極的に地域づくりに参画することが求められます。

⑤ 地域の伝統や文化を継承

地域に伝わる伝統文化・芸能の継承によって、地域に対する誇りと愛着を育み、地域の連帯意識の醸成へつなげていくことが求められています。

い内外よ節とがと後巣遠たすあ会づろこ
く分を訪優にしかり。りのくにん
春福に信れしはいらな▼そ役りもな
よは鬼元じるいき冬じば冬う割協地と
来はきてこ春つの、春来でが議域こ



役お報会
正りでで高
副度もは、地
部重お
会な知昨域
長るら年づ
三せ8月
議部し月
会て発議
足以会
行会い議、
おの会3案
と願皆に月
ない様向中と
をにけのり案
す入て設ま
る会地立と組
運の域総め織
びおの会3案
と願皆に月
ない様向中と
則三と広

準備会副会長

山岡 直芳

自らのために行動する組織づくり

願いにさかく我い分くり
いま行きす々面ごりま
しす動るるのも理協した。
ます積るで況め月るし会
極組なのに地かてとは皆
的織く変知域といは様
なに化恵を思た何方
ごな自にを少いだなに
入れらよ出しまけのは
会ばのりしてすと地
をとたや汗もがい 域
お思めらを良 な十づ

3月中旬 設立総会開催予定

一共 加づで 定月を正規者会会募
歩助みをくき意で中行副約 員集2
でのんおりる氣す旬う会や個各とに月
す社な願協よ揚 に設長組人種なよの
。会でい議う々 開立な織が団らつ第
を支し会高と 催総ど 集体れて一
築えまへ月船 す会の理まのた正次
く合すの地出 るを選事つ代自式会
第う。參域が 予3任 て表治に員

て態し路が世につ年
き勢なの多帶ひなさ齡
まがど除くあとりがを
しよ地雪なるりま身重
たり域やりい暮しにね
必で屋集はらたしる
要支根落空し。みご
にえ雪内家や▼ると
な合下の空老地よに
つうろ道地人域うき

編集後記
はよ方波をた波
大うまで。が今
変で九つそや冬
なす雪州ぼれつは
仕。がやりもて巖
事雪降奄覆日きし
でかつ美う本まい
きた地寒し寒